

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

発言者	内容																																																																					
開催日時	令和2年9月29日（火） 午前10時から正午まで																																																																					
開催場所	蒲郡市役所北棟集会室																																																																					
出席者	<p><b>【蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会委員】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">蒲郡市産業環境部</td> <td style="width: 20%;">部長</td> <td style="width: 40%;">贅年宏</td> </tr> <tr> <td>蒲郡シティセールスプロジェクト</td> <td></td> <td>千賀充能</td> </tr> <tr> <td>蒲郡シティセールスプロジェクト</td> <td></td> <td>水野順也</td> </tr> <tr> <td>蒲郡商工会議所</td> <td>中小企業相談所長</td> <td>松岡祐志</td> </tr> <tr> <td>蒲郡青年会議所</td> <td>理事長</td> <td>酒井伸豪</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市観光協会</td> <td>事務局長</td> <td>鹿野公朗</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市農業協同組合</td> <td>営農販売部部長</td> <td>金澤利保</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市漁業振興協議会</td> <td>会長</td> <td>小林俊雄</td> </tr> <tr> <td>蒲郡信用金庫</td> <td>地域振興部部長</td> <td>長瀬克夫</td> </tr> <tr> <td>愛知県飲食生活衛生同業組合蒲郡支部</td> <td>青年部長</td> <td>笹野弘明</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市総代連合会</td> <td>会長</td> <td>細井政雄</td> </tr> <tr> <td>がまごおり市民まちづくりセンター</td> <td>代表</td> <td>金子哲三</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市企画政策課</td> <td>主事（課長代理）</td> <td>大森麻子</td> </tr> <tr> <td>〃 秘書広報課</td> <td>課長</td> <td>浅野勝貴</td> </tr> <tr> <td>〃 協働まちづくり課</td> <td>課長</td> <td>松井英樹</td> </tr> <tr> <td>〃 子育て支援課</td> <td>次長</td> <td>高橋晃</td> </tr> <tr> <td>〃 観光商工課</td> <td>課長</td> <td>小田芳弘</td> </tr> <tr> <td>〃 農林水産課</td> <td>課長</td> <td>山田浩隆</td> </tr> <tr> <td>〃 企業立地推進課</td> <td>課長</td> <td>成瀬貴章</td> </tr> <tr> <td>〃 学校教育課</td> <td>課長</td> <td>小澤良充</td> </tr> <tr> <td>〃 生涯学習課</td> <td>課長</td> <td>三浦次七郎</td> </tr> </table> <p>(欠席)</p> <p><b>【事務局】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">蒲郡市観光商工課シティセールス推進室</td> <td style="width: 20%;">室長</td> <td style="width: 40%;">小山道徳</td> </tr> <tr> <td>〃 主事</td> <td></td> <td>来本晃彩</td> </tr> </table>	蒲郡市産業環境部	部長	贅年宏	蒲郡シティセールスプロジェクト		千賀充能	蒲郡シティセールスプロジェクト		水野順也	蒲郡商工会議所	中小企業相談所長	松岡祐志	蒲郡青年会議所	理事長	酒井伸豪	蒲郡市観光協会	事務局長	鹿野公朗	蒲郡市農業協同組合	営農販売部部長	金澤利保	蒲郡市漁業振興協議会	会長	小林俊雄	蒲郡信用金庫	地域振興部部長	長瀬克夫	愛知県飲食生活衛生同業組合蒲郡支部	青年部長	笹野弘明	蒲郡市総代連合会	会長	細井政雄	がまごおり市民まちづくりセンター	代表	金子哲三	蒲郡市企画政策課	主事（課長代理）	大森麻子	〃 秘書広報課	課長	浅野勝貴	〃 協働まちづくり課	課長	松井英樹	〃 子育て支援課	次長	高橋晃	〃 観光商工課	課長	小田芳弘	〃 農林水産課	課長	山田浩隆	〃 企業立地推進課	課長	成瀬貴章	〃 学校教育課	課長	小澤良充	〃 生涯学習課	課長	三浦次七郎	蒲郡市観光商工課シティセールス推進室	室長	小山道徳	〃 主事		来本晃彩
蒲郡市産業環境部	部長	贅年宏																																																																				
蒲郡シティセールスプロジェクト		千賀充能																																																																				
蒲郡シティセールスプロジェクト		水野順也																																																																				
蒲郡商工会議所	中小企業相談所長	松岡祐志																																																																				
蒲郡青年会議所	理事長	酒井伸豪																																																																				
蒲郡市観光協会	事務局長	鹿野公朗																																																																				
蒲郡市農業協同組合	営農販売部部長	金澤利保																																																																				
蒲郡市漁業振興協議会	会長	小林俊雄																																																																				
蒲郡信用金庫	地域振興部部長	長瀬克夫																																																																				
愛知県飲食生活衛生同業組合蒲郡支部	青年部長	笹野弘明																																																																				
蒲郡市総代連合会	会長	細井政雄																																																																				
がまごおり市民まちづくりセンター	代表	金子哲三																																																																				
蒲郡市企画政策課	主事（課長代理）	大森麻子																																																																				
〃 秘書広報課	課長	浅野勝貴																																																																				
〃 協働まちづくり課	課長	松井英樹																																																																				
〃 子育て支援課	次長	高橋晃																																																																				
〃 観光商工課	課長	小田芳弘																																																																				
〃 農林水産課	課長	山田浩隆																																																																				
〃 企業立地推進課	課長	成瀬貴章																																																																				
〃 学校教育課	課長	小澤良充																																																																				
〃 生涯学習課	課長	三浦次七郎																																																																				
蒲郡市観光商工課シティセールス推進室	室長	小山道徳																																																																				
〃 主事		来本晃彩																																																																				
議 題	<p>(1) 基本方針の策定について</p> <p>(2) シティセールスにかかる取り組みについて</p>																																																																					

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

会議資料	<p><b>資料1</b> 次第、委員名簿</p> <p><b>資料2</b> 蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会設置要綱</p> <p><b>資料3</b> 「蒲郡市シティセールス基本方針」の策定について</p> <p><b>資料4</b> 蒲郡市のシティセールスに関わる概況について</p>
会議内容	<p><b>1 開会</b> (小山室長)</p> <p>本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。ただいまから、第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会を開会させていただきます。</p> <p>本日の進行を務めさせていただきます、事務局のシティセールス推進室長の小山と申します。よろしくお願いいたします。</p>
	<p><b>2 市長挨拶</b> (小山室長)</p> <p>委員会の開催にあたりまして、蒲郡市長からご挨拶をさせていただきます。鈴木市長、よろしくお願いいたします。</p> <p>(市長挨拶)</p> <p>おはようございます。ご多用なところ、このようにご参集いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>シティセールスについては、私も長年に渡り携わってまいりました。民間の時にここにご出席の千賀さん、水野さん、笹野さん、皆さんと一緒に、ガマゴリうどん、ロケ誘致などに携わってきました。</p> <p>ガマゴリうどんグランプリ、いろいろな大会の誘致など、蒲郡をどんどん広めていく。</p> <p>そのような思いもあり、市長就任後にすぐにシティセールス推進室を設置しました。</p> <p>かねがね、官と民が一緒になってまちを売り込んで、いろいろな方々に発信していく、そんなことがこの町では必要ではないかという思いです。</p> <p>皆さまに集まっていただき、基本方針を策定することになりました。本当にうれしく、これからだなど改めて思っている。</p> <p>皆さま方がシティセールスを進めていく主力になっていく方々ばかりです。周りにも、いろいろな方々にもかかわっていただき、シティセールスの方向性を一本化していく会議になると思う。</p> <p>明日にはワーキングが開催されます。皆さんが所属されるそれぞれの団体から多くの方が参加いただきます。お忙しい中で、このような活動にご参画賜りますことを感謝いたします。</p> <p>意見交換は皆さま、皆さま、蒲郡市にとっても重要になります。蒲郡</p>

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

	<p>市が今後、どのような形で発信していく、どのような町になっていくという大きい視点で、様々なことについて皆様が持っている知見で導いていただきたい。</p> <p>蒲郡市が全国から注目されるすばらしい町になることを願いながら、皆さまのご健勝・ご多幸をお祈りいたします。</p> <p>(小山室長)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>市長はこの後、公務がございますので、退席させていただきます。</p>
	<p>(小山室長)</p> <p>まず本日の流れについて、簡単にご説明申し上げます。</p> <p>次第をご覧ください。このあと、次第の3において委員委嘱についてご説明させていただき、その後次第の4において委員会設置要綱に基づく、委員長、副委員長の選出、そして、次第の5において基本方針の目的や本委員会の役割などをご説明させていただき、次第の6にて、先日の会議開催案内に添付させていただきましたが、各委員から団体の活動や今後の蒲郡についてのご意見をいただき、その後、全般にかかる意見交換を行っていただくという流れで進めさせてまいりたいと考えております。概ね11時半ごろの終了を予定しています。</p> <p>次に、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>資料1 次第、委員名簿、席次表</p> <p>資料2 要綱</p> <p>資料3 策定について</p> <p>資料4 概況について</p> <p>不足している資料はございませんでしょうか。</p>
	<p><b>3 委員委嘱について</b></p> <p>(小山室長)</p> <p>次に3 蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会委員の委嘱をさせていただきます。</p> <p>委嘱は、市長から委員の皆様お一人おひとりに委嘱状をお渡しして行うのが本意でございますが、時間の都合上、誠に恐縮に存じますが、机上に配布させていただいておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>また、本日は最初の委員会でございますので、議事に入ります前に、委員の皆様も始めて顔を合わせる方もいらっしゃると思われまますので自己紹介をお願いしたいと思っておりますが、後ほど、各委員からご発言をいただく機会がございますので、まずはお名前とご所属のみお願いいたします。</p>

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

	<p>(時計周りで所属・名前)</p>
	<p><b>4 蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会の委員長及び副委員長の選出</b></p> <p>(小山室長)</p> <p>まず、本委員会の位置づけとして、要綱をご覧ください。</p> <p>(要綱説明)</p> <p>続きまして、蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会の委員長及び副委員長の選出をお願いしたいと存じます。委員長の選出につきましては、要綱第3条第3項の規定により、委員の互選により定めることとなっております。どなたか委員長へのご推薦があればお願いいたします。</p> <p>(金子委員)</p> <p>すみません、よろしいでしょうか。</p> <p>蒲郡市においてシティセールスを推進するにあたり、他市にはない大きな特徴的な部分として観光産業をはじめ繊維産業、農業、漁業などがあり、また、最近では映画やドラマを活用したまちづくりにも取り組んでおり、それらを統括する立場にある産業環境部長の賛委員が適任だと思いますので推薦させていただきます。</p> <p>(小山室長)</p> <p>ただいま、委員長に賛委員というご発言をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>(小山室長)</p> <p>それでは、ご異議なしということでございますので、賛年宏委員に委員長をお願いしたいと思います。</p> <p>ただ今、委員長にご就任いただきました賛様からごあいさつをいただ</p>

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

きたいと思います。よろしくお願いいたします。

(贅委員長あいさつ)

先ほど市長の挨拶にもございましたように、シティセールスについては市政の重要な施策として取り組んでいます。本委員会はその基本方針

本委員会はシティーセールスの方向性を決めていくものです。

委員長という重要な役割をいただき緊張しておりますが、シティセールスについては、

官民、市民の皆さまが一体となって進めていくものと思っています。

ここにお集まりの方々が熱い思いを持っておられます、

皆様の考え方を一つにまとめていくのが私の役割です。

委員会は約半年間の期間ですが、委員の皆さまには宜しく願い申し上げます。

(小山室長)

ありがとうございました。要綱第3条第3項の規定により、副委員長は委員長が指名するとありますので、副委員長を委員長からご推薦をお願いいたします。

(贅委員長)

蒲郡シティセールスプロジェクトの活動として、映画のロケ誘致やガマゴリうどんの全国展開など、長年にわたり精力的に蒲郡市の魅力を全国に発信するシティセールス活動を実践されてきている千賀委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

(小山室長)

それでは副委員長を千賀委員にお願いさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

それでは千賀様からごあいさつをいただきたいと思います。

(千賀副委員長あいさつ)

これまで私も総代連合会長と一緒に昨年まで総代をやっていましたが、いろいろな団体に入っているいろんなことを行ってきました。

各団体、蒲郡のために一生懸命であるがどうも方向性が多少ずれているのではないかと思いました。市長の思いでもありますが、蒲郡はワンチーム、一つになって進んでいくという市長の思いを聞いて、協力した

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

	<p>いという所存です。</p> <p>みなさんと一緒になって、蒲郡を良い方向にもっていきたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。</p> <p>(小山室長)</p> <p>ありがとうございました。</p>
	<p>(小山室長)</p> <p>それでは、これからの議事進行は、要綱第5条第1項の規定により賛委員長に議長をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。</p> <p>(賛委員長)</p> <p>それでは、会議の議事進行をさせていただきます。皆様方のご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、次に進めさせていただきます。</p>
	<p><b>5 基本方針の策定について</b></p> <p>(賛委員長)</p> <p>次第の5 基本方針の策定について事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局 小山室長説明)</p> <p>ありがとうございました。</p>
	<p><b>6 シティセールスにかかる取り組みについて</b></p> <p>(賛委員長)</p> <p>続きまして次第の6 シティセールスにかかる取り組みについてについて事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局 小山室長説明)</p> <p>先ほど、要綱でもご確認いただいておりますが、本委員会の目的とするところは、蒲郡市におけるシティセールスを推進するための基本方針を策定することにあります。</p> <p>まずもって、シティセールスの狙い、目的についてですが、すでに全国的に人口減少社会となり、本市においても人口が減っていくという状況が強く見えている状況であります。また、かつては当たり前であった地域とのかかわりは薄くなり、町内会などの地域活動への参加についても若い担い手が減り、市民が生活していくために必要な地域活動の継続が今後ますます厳しくなっていくと考えられています。</p> <p>そんな中で、私の町が好きだと強く思う市民が多くいます。また、市外に住んでいながらもイベントへの参加やふるさと納税など、様々な形で本市を支えてくれている方もいます。シティセールスの大きな目的と</p>

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

しては、地域を中長期的に持続的に発展させていくためのわが町意識の強い市民、それから市を応援して下さる市外のファンを増やすための活動と言えると考えられます。ここでは、これらの方を「関係人口」と定義をさせていただいております。

この関係人口増加のために、市の暮らしの魅力や価値を効果的にアピールするための「統一的なコンセプト」や「キャッチフレーズ」、「セールスの方針・方向性」を様々な立場の方からの意見を踏まえて決めてまいりたいと考えています。

観光とシティセールスの関係性については、下段の点線の枠組みにございますが、観光は主に市外の方を対象とし、飲食や買い物、宿泊などで地域活性化させることを目的とするものですが、シティセールスは、先ほどの自分のまちを愛する心を持つ人を増加させること、そして、地域外のファンを増やすことを目的とするものであり、観光や移住・定住のための活動を包含するものと考えられます。

次のページですが、基本方針における基本目標について、案を示しています。ただし、今からご説明する内容は、今後検討するにあたってのたたき台であり、今後の策定委員会での議論、ワーキング会議での議論により、本市にとってのよりよい形へ変わっていくものと考えております。

①といたしましては、蒲郡市民の誇りや愛着（シビックプライド）の醸成です。蒲郡市を好きな市民が増えていくことにより、そのまちのために自ら汗を流す人が増え、地域を支える活動が広がり、多くの市民がさらに幸せになるという循環が生まれる可能性が広がります。また、市民が胸を張って、私の町が好きだといえるまちは、外の方からも見ても魅力的なまちに映り、まちの魅力はさらに磨かれていくと考えられます。

②といたしましては、本市ならではの強みや特徴をしっかりと把握し、それを明確に示して、効果的なプロモーションを行うことにより、本市のイメージアップを図るものです。

参考としては、アイドマの法則を載せておりますが、まず蒲郡市という素敵なまちがある、ということをしかりと打ち出して、近隣にお住いの方に認知されることから始めていくことが重要であると考えられます。

次にターゲットの考え方です。全国、全世界のあらゆる年代へしっかりと届くプロモーションが理想的ではありますが、限られた人の力、財力においては、逆に誰にも届かない、となってしまう可能性が高いと考えられます。

そこで、ある程度地域や年代をターゲットとして定め、まずはその方々

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

に響くアクションを行っていくことが適当であると考えられます。

3ページ目のたたき台におきましては、まず主役は市民を考えること、その中でも今後のまちづくりを担う若者・子育て世代をターゲットとしてはどうかと考えています。理由としては、この世代よりも高い年代においては、まだ、地域に対する愛情があると考えられますが、若い年代の転出傾向からも、この年代にはその意識は低いのではないかと考えられ、ターゲットとしては、この年代が適当ではないかと考えています。

もう一つのターゲットとしては、近隣に住む若者・子育て世代です。ファンを作るにあたっては、やはりすぐに行き来できる距離というのが重要です。都心へのアプローチというよりも名古屋・浜松までの範囲をターゲットと考えるのが適当ではないかと考えています。

そして、①と②を共通して言えるのは、この若者・子育て世代は個人としての情報発信力を持っている方が多く、自らが好意を持っていることを他者へ伝える波及力・情報拡散力が高いため、シティセールスのターゲットとしては、適当ではないかと考えられます。

次に基本方針完成までのイメージです。

内容としては、一般市民や関係者にコンセプトや方針がわかりやすく伝わるように、ページ数を多くせず、多くても20ページ程度を想定しています。

構成としては下の囲みの中のように、①蒲郡市におけるシティセールスの意義や必要性、計画期間など、②として、アピールすべき蒲郡市の魅力や価値、地域資源など、③として、シティセールスのコンセプト、キャッチフレーズ、④として、推進するための事業アイデア、推進体制などを考えています。

これらも骨組みとしてのたたき台であり、これからの会議の中でご意見をいただき、よりより形とできればありがたいと考えています。

次に策定の体制とスケジュールです。

まず、ここにお集まりの民間の関係機関、庁内関係課による「策定委員会」を設置し、この委員会に置いて、基本方針を策定することとなります。

その本委員会の下部組織として「ワーキング会議」を設け、より具体的な案を検討するものとさせていただいております。

策定委員会のスケジュールといたしましては、本日と11月、2月の全3回を予定しています。そして、ワーキング会議は明日第1回目の会議を行い、10月に2回、その後数回の会議を重ねる予定となっています。というのも、4段目をご覧いただきたいですが、この基本方針策定と合わせて、そこで生まれるコンセプトやキャッチフレーズなどを生か



## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

したポスター、ロゴ、WEB 制作も同時に進めていく予定となっており、ワーキング会議における検討内容につきましても、まずはこのコンセプトの検討を議論いただきたいと考えております。そして、ここで検討されたコンセプト案について、第2回目の11月を予定している本策定委員会へ議題として挙げさせていただき、ご審議いただきたいと考えております。

そして、そのコンセプトをもとに、受託事業者である凸版印刷さまにおいて制作を進め、ワーキングへの提示を適宜行いながら、最終的に本年度中に基本方針策定及びポスター等宣伝媒体も完成するというかたちで進めてまいりたいと考えています。

そして、今回の策定にあたり、シティセールスはこのまちを想う人々と行政が一体となって進めていくべきものと考えており、多様な立場の人々へ届くものを作り上げたいと考えています。

そして、それを検討する人については、ターゲットと考える年代を中心とし、そして、さまざまな仕事や思いを持つ人が出会い、意見交換できるよう、ワーキング会議には様々な分野の方にご参画いただくこととなっています。

そして、定めたコンセプトを用いた具体的なアクションが重要であり、これまでに長年にわたり、本市のシティセールスを献身的にけん引してきていただいた人々と共に協力して進めていくことが重要であると考えています。

そして、この方針策定をきっかけとして、今後5年10年先を見据えた方向性や新たな取り組みを検討する機会となればありがたいと考えています。

最後の具体的な策定委員会、ワーキング会議の進め方とスケジュールをご説明させていただきます。

今回は、基本方針策定の概要説明とご確認いただくこと、そして各団体におけるシティセールス活動の共有を主な内容としています。

第2回目は、方針の内容の検討、そして、各団体において次年度の行う事業の検討状況の共有、そして、ワーキング会議において検討されてきたPRツールの状況報告です。

第3回目は、あらかじめ方針案をお示ししたうえで開催するとし、基本方針案の承認、PRツールの確認とさせていただきたいと考えています。

次にワーキング会議ですが、3回目までは、コンセプトの検討、それ以後は具体的事業のアイデア検討となると考えています。

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

	<p>そして、最終的には、基本方針に基づく具体的事業のキックオフとなるような機会を設けたいと考えています。以上で説明を終わります。</p> <p>(蒲郡市のシティセールスに関わる概況について の説明)</p> <p>(贅委員長)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして次第の6、シティセールスに関わる取組みについて説明をお願いします。</p> <p>(事務局 小山室長説明)</p> <p>(シティセールスに関わる取組みについて の説明)</p> <p>お一人様2分程度で取組みについての説明をお願いします。</p> <p><b>※以下、である調</b></p>
	<p>(贅委員長)</p> <p>皆様にご案内と一緒にお配りしたペーパーに基づいて説明することにする。</p> <p>蒲郡市においては本年シティセールスを進めるということで、1月から推進室設置している。</p> <p>個人的には市内のイベントに顔を出すように心がけ、他地域のイベントにも顔を出し、関係が広がってきた。</p> <p>②蒲郡としてアピールした方が良いポイントとしては、市内の様々な機関が連携して取り組んでいける雰囲気、しくみづくりができるが良い。周辺のみではなく地域とも連携して、他の地域にも知る、他地域の人にも蒲郡のことを知ってもらえる機会ができるが良い。</p> <p>(千賀副委員長)</p> <p>今までうどんサミット、ロケなどに取り組んできたり、地域の総代も務めてきた。要望などを行政に出してきたが、縦割り行政というか横のつながりがなかなかない。民と官、それぞれが一生懸命やっているのが見えるが、それぞれがほかのグループも見ながら切磋琢磨しながら蒲郡を官民一体として盛り上げていけばより良い町になる。</p> <p>ゾッキの映画もやっているが、市民も興味があるところには手伝う。山田孝之に会いたいので手伝うなど。自分のやりたいことには一緒懸命になるが、そういう場面以外ではなえてしまう。自分の蒲郡への思いを高めて、一生懸命蒲郡のためにやったら、町を盛り上げていただければ良いと考えている。</p>

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

(水野委員)

シティセールスということで8、9年活動を続けている。その間、手弁当で全国を飛び回って、蒲郡のため何ができるのか考えて継続中である。

今回、市長の思いで推進室が立ち上がって基本方針を策定するが、本気でやるかどうか、蒲郡を良くしようと思っているのかどうかに尽きる。方法は官民一体、民はボランティア。官の人は仕事、仕事とボランティアの差はなかなか埋まらないと思う場面がある。官も市民であり、ボランティア的な発想で取り組んでいただきたい。絵に描いた餅に終わらないようにしたい。

この会議には課長が集まっているので、ぜひ連携して、オール市民で進めていければ望ましい。成功しなくても良いが、市民、官民一体となって同じ方向で汗をかけば、その先に新たな方向もあるので、取り組んでいければやりがいがある。

(鹿野委員)

4年ほど観光協会の仕事しており、外から客を呼んで、主に宿泊してもらえるように活動してきたが、コロナウイルスの影響で観光も方法を変えていく状況にある。

観光のための観光ではなく、地域を活性化する、元気をもたらすために何ができるのかを考えていく必要がある。地域のための観光ということでは、基本方針の策定の方針と重複するところ、一緒にやっていける方向がある。

雑誌を見ても物見遊山の観光より、地域に暮らすような観光、ミニマム、マイクロツーリズムということも言われており、そこが蒲郡市のシティセールスとともに観光協会も担っていく部分と思う。組織的にも旅館が中心であるが、組織も変えていく中でこれも良い機会であり、意見交換をしながら一緒にやっていけるように活動できればと思う。

(金澤委員)

団体としては、農協であり、みかん、イチゴを介しながら全国にPR、加工品を使ったPRに努めている。15年ほど前には、協会、会議所の力を借りて蒲郡みかんワインを製造販売した。

関係人口という言葉を知ったが、強みをいかしていく必要がある。市内には県立高校3、大学1、小中一貫校もあるが、蒲郡を選んでいただいた皆さんに蒲郡の良さをもっとPRすることが人口の増加にもつながる。3年、4年ここで学ぶこと、出前講座等も行いながら蒲郡の良さを知ってもらえば、委員会の思いに通じる。

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

(長瀬委員)

地域振興部では地方創生、本業支援など、金融業とは離れて外で積極的に地域のためになる仕事をやっていきたい。

一方でSDGsの推進に力を入れており、先般には市、会議所など4者連携で催しを行ったが、そのほか官民連携でいろいろなことをやっていきたい。

私どもの建物には1階にコミュニティホールがあり、230人の最大収容力である。密になるイベントは開催しにくいですが、グッズのイベントなど開催してきた。シティセールスにつながるイベントがあればご活用いただきたい。いろんな形で連携して少しでも多くのことを取り上げていきたい。

(細井委員)

今年は総代会ができなかったが、蒲郡はこんないい町という声結構ある。昨年、協働まちづくり課で市をやったが、駅周辺から水族館までの賑わいづくりをつくりたいというきっかけづくりとして、試しで行ってみた。回数は少なかったが、たくさん的人是集まらなかったが、それなりにブースを作って、効果があった。うどんサミット、クラフトフェアも成功裏に終わったのは、ある程度年数が経って、定着して広がったと思う。

いろんな人が蒲郡はもったいない、駅の南を降りて海の立地があるので、東港ももったいない。これを上手につなげばまちづくりができる。

市民からも蒲郡いいところだね。子育てしやすいという声もある。ぜひ、シティセールス、東港の開発で協力していきたい。

(企画政策課)

定住促進にかかわるPR、住宅展示場などで定住促進のためのPR活動してきた。そんな土地がある、住む時の助成制度をPRしてきたが、それを目当てに足を止める人は少なかった。

皆さんからはどういうことでがんばっている町か、どういうおもしろい人がいるか聞かれる。それがこれからアピールしたいポイントにつながるか、資料3の住宅供給、子育て支援も大事であるが、制度的なものではなく、最初のアピールポイントとしては町の風土、町に対しての愛着、成功体験をアピールした方が良い。

(秘書広報課)

市民向けについては愛着をもっといただくために、広報、CATVの番組放映を行っている、市外向けについては毎月の市長の定例会見、随

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

時の記者リリース、SNSはインスタグラム、ラインについては近いうちに立ち上げたい。

2番目は情報の浸透力では3月中旬にコロナの事件があり、報道により全国から一週間は電話がかかってくる、変な意味での浸透力に驚いた。良いことで浸透させることが難しいが、企画政策課でメーテレと蒲郡アワードとしてテレビCMに流す。

関係人口をいかに増やすのか、蒲郡のファンについて市外の人も増やすためにPRして、記者会見などでうまくPRしていきたい。

### (子育て支援課)

子ども子育て支援計画の中で、子どもの笑顔輝く町蒲郡というスローガンがある。子どもを育てやすい町、子ども、子育て支援の充実した町を目指している。蒲郡の良さとして子育てに関するサービスが充実している。児童館は7か所で中学校区に一つずつ、児童クラブは市内27、全て市の直営で行っている。

昨年度の4月に保健センターの中に、子ども子育て支援センター、児童発達支援センターを設置した。相談体制の充実、障がいの有無にかかわらず支援を行う体制を整えている。定住促進にもつながり、子育て環境の充実が市のセールスポイントになる。

### (農林水産課)

J A、漁協と連携して進めていくことが多い。

個人的に昨年、福井県の坂井市でネクストラップコンテストをやっており、越前織などを使うなど各地の特産品を使っているが、10回目程度となっている。坂井市はシティプロモーション推進室が行っている。

昨年度、蒲郡の特産、メヒカリやみかんなどを織り込んで応募したが、落選した。今年もリベンジしたいので、いつかこれというのを出せれば。

坂井市の取組みは越前織、各自治体は特産品や思いを盛り込んで、自分のPRを行いwin-winの関係になっている。

### (学校教育課)

教育では人が大事であり、人を育てるために教育が大事で、いかに地域を大切に子どもを育てているのかが課題である。キャリア教育で、蒲郡で活躍している人たちと子ども達をつなぐことができないか。

さらに、地域に開かれた教育、地域と一体となって子供たちを育てていく。コミュニティスクールについては実現させていきたい。

自分は音楽、吹奏楽をやっているが、音楽の町蒲郡を市制40年の時から掲げている。関係者は高齢化しており、自分はジュニア吹奏楽団を手掛けている。名古屋で吹奏楽の全国コンクールをやっているが、練習会

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

場に困っているチームがあり、蒲郡市民ホールを無料で貸す、中学生が手伝う、蒲郡のホテルを使えばホールが無料という計画を進めていたが、コロナでとん挫した。

数年後までは名古屋で開催することが決まっているので、子ども達もレベルの音楽に触れる、市民も活動を見るという win-win の関係で、やがては応援に来た親も観光客として舞い戻ってくるのではないか。全国規模の中高生の大会のみではなく会議を蒲郡に誘致して、知ってもらって、また蒲郡に来てもらう活動もできればよい。

### (生涯学習課)

生命の海科学館、市民会館、公民館を所管している。

科学館は花火、いろいろな学習で活用されており、市内・市外の利用者が半々ぐらい。よそにはない館であり、蒲郡の魅力の一つである。市民会館では音楽、文化公演を行っており、市民が文化にふれ、市外からも注目されるように、シティセールスの面でも力を入れていきたい。

公民館は地域の中心拠点であり、いろいろな方が社会教育を通して巫活動している。利用率が低いということがあるが、地域を愛する人を増やす取組みを増やしていきたい。

個人的な取組みとして、蒲郡で食べる刺身が一番うまいと常に話をしており、手土産でみかんをもっていき箱入り娘、大きなものを配りアピールしている。木曜日は木綿の日で、三河木綿のシャツ、マスクなども三河木綿を使うようにしてアピールしている。蒲郡の産業を外にアピールする必要がある。

これからアピールするポイントは、施設があるが交通の便が良いこと、海、山の良い環境があることなど、よそからもとっても良いと感じると思う。どうアピールしたら良いかというポイントでは、蒲郡競艇も大きな施設で、関係人口としてファンも多く、いろんな業種もコラボして連携していくことがよい。

### (企業立地推進課)

企業誘致について市内・県外の企業を回って蒲郡の立地を紹介しているが、それだけでは魅力を感じていただけないので、いろいろなパンフを持参して魅力をできるだけ伝える。全国の企業展でも出かけて資料、名刺を配布して、大都市のイベントでもパンフを配りアピールしている。

私は、まちづくりを趣味でやっており、この場でもそこで関わる人がいたり、お名前をよくお聞きする人が多い。全国に行くと、蒲郡を知られておらず、聞かれると特徴を話している。ここにご出席の皆さまに興味の方で顔を拝見すると思うので、仕事趣味の境界が分からなくなっているが、いろんなところでお目にかかると思う。

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

アピールしたいことは、仕事で企業からいろんな提案をいただけるので、いろいろな場で企業の話の話を皆さんに伝えていけるとよい。

(観光商工課)

観光も商工もシティセールスに関わり、観光はもちろん、商工では三河木綿、蒲郡の特産品、眼科医療、目の検査、レンズ製造がここには集積している。いろいろな企業の強みがある。

今までも特徴や強みをPRしてきたつもりであるが、全国、市外に伝わっていない。観光客からここはいい町、おいしい物があると言われるが、知られていない。来てもらって初めて分かってもらう、なぜ知られていないかとなると、いいものは一杯あるがPRが下手と感じる。

そこで、シティセールスプロジェクトのメンバーが映画を誘致し、ガマゴリうどんを作られた。良い物があるがとんがっていない、日本一、世界一を作っていない。これもあるよ、交通の便もいいよ、観光、温泉と資源がみんな平均値以上かということだとんがっていない。うまくPRするのがガマゴリうどんだったのか。日本一のアサリがあるのは知られていない。小麦きぬあかりという粉があり、ミックスさせて蒲郡ならではのものが、ガマゴリうどん。

蒲郡は音楽がコンテストなどで全国でも有名であったので、市民会館など結構良い音楽に関連する施設があり、宿泊施設もあるということでは、音楽と宿泊と大会を誘致するには適す。ただし、音楽業界宿泊業界は接点がない。今回のセールスが、市民の皆さんが接点を持ち、みんなアピール、コラボする、少しでもとんがったものを作ってアピールするのが今後良い。

(協働まちづくり課)

まちづくり、総代会事務局、男女共同参画、国際交流、多文化共生の事業を行っている。

中日新聞に外国人向け日本語教室が大きく取り上げられた。平成21年2,125名、現在3,249名で1.5倍に増加。9月から様々な教室を実施しているが、その都度蒲郡を紹介しており、観光についても紹介している。参加者の半分は蒲郡に住んでいるが、蒲郡のことを知らない人も多くいる。

日本語が全くしゃべれない人対象の教室が先々週始まったが、その際に英訳版のパンフを配って、特産品はみかん、うどんと紹介したら、ガマゴリうどんのおいしい店を教えてくださいとせつかれて、外国の人も興味を持っている。

外国籍で一番多いのはフィリピン人が45%、その代表が蒲郡をもっときれいにしたいということで、フェイスブックでフィリピンの人30名が

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

集まり、三谷、形原の海外で清掃をしてくれた。今度ははぜひ、地元の住民と協力して清掃を進めていきたいとのことである。

蒲郡はボランティアでやっていただける人がいて素晴らしい。そういった方々の連携を図ることで今以上に蒲郡が良くなっていく。総代連合会、まちづくりに携わる方、外国人とも連携していきたい。

(金子委員)

市民まちづくりセンターについて、みなさん何をやっているのと思われるかもしれないが、ここに参加されている方々の全ての組織とはプロジェクトを組んだことがある。行政の関係の委員会 14、市民のプロジェクトは 20 ぐらいに参加させていただいている。

配布された資料に示されている人口などについては、いろいろな委員会で議論されている。委員会で要約することも大事であるが、ワーキングを開催されるということで、計画する人が実施者に混ざらない、実施する人が計画に混ざらないということはいつまで続けていくのか。どこかで混ぜるべきである。

市民ニーズを受けて施策に落とし込むには、蒲郡の売りの山、その整備が遅れていると聞いている。山遊会という山を歩くチームが次の展開として市民に向けて広報啓発をやっていくということであった。これは県外の人に PR した方が良いということで、中日新聞県内版で PR したら 10 数名しか集まらなかったのが 78 人集まり、名古屋の方を含めて市外の人も半分参加した。

大事なものはキャッチボール、その人たち以外とのキャッチボールすることがいろいろな展開が出てくる。

バリアフリー栈橋を日本で唯一作ったので、筑波大学、大阪大学の先生が来たり、今後のオリンピックで蒲郡を参考にしたいという声もある。

分からない、知らないことはいっぱいあり、少しでも知る努力をすることが必要である。PR=観光ということであるが、ほかについても観光は PR していくものである。それ以外のことを市外の方に対する PR をブラッシュアップするのを誰が行うのかがキーワード。観光大使というより 8 万人が匿名宣伝係長、民間と一緒に PR するためにバックアップする、それを誰がコーディネートするかが長年の課題ある。シティセールスではそうした機会を加速させていただきたい。

(笹野委員)

飲食店組合として組合員一人ひとりの意識づくり、自身もシティセールスプロジェクトに携わってきており飲食店はグルメということがかかわりが深い。ガマゴリうどんも地道に 7 年宣伝した活動があった。食べたことがない人もたくさんおり、学校給食に入れても良いのでは、子



## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

ども達に知ってもらうのも必要。

スピーディーさが無い。飲食店組合は思いついたらすぐやる。蒲郡チャンネルを立ち上げて、飲食業が辛い状況乗り越えるように、蒲郡もPRしている。

この会もスピーディーさを持ち、議論よりも活動の場をすぐに起こすことが必要である。シティセールスは10数名で会議しており、幅を広げて人を増やす、また、子ども達に蒲郡の魅力を伝える状況をどんどん作ることも必要である。

(小林委員)

農林水産まつり、くらふとフェア、各地区の祭り、水産祭り、市場祭りなどで深海魚、地産地消で地元の魚を食べていただくことをPRしている。メヒカリは成果が上がっているが、ほかの魚はまだである。

アサリの生産が激減しており、今年は竹島で潮干狩りできなかった。海はきれいになったが、豊かではなくなった。豊かな海を作り出すことをやっていきたい。

町に魚屋さんがなくなってきたことが残念である。魚離れが加速しているので何と食い止めないといけない。魚はよそから来た人がうまいと言っている。PRする必要があり、シティセールスの中でやっていければよい。

(酒井委員)

JCの活動で例年共通しているのはまちづくり委員会である。その中で、賑わいづくり、町の問題点の解決に取り組んでいる。

今年、コロナの影響の中で旅館・観光業が打撃を受けており、市民が旅館をなかなか利用する機会がない。市民にも旅館もことを知ってもらうために、旅館に1日限定でご褒美弁当を考えてもらい市民に旅館のことを知ってもらうことを実施する予定である。

今年オリジナルで、市民の、皆さんにまちづくりに知らず知らずに触れていただくことを考えた。蒲郡のオンラインのクイズ賞、蒲郡王、YouTubeで参加してもらうもので、蒲郡を知ってもらい、いつかまちづくりを行う人材になっていただければ。

JCはいろいろな方々と一緒にやる機会が少なく、ゾッキなどにも参加してきた。官民一体となったまちづくりを行っていることをアピールするのが良い。

(松岡委員)

中小企業相談所ということで事業者の経営をサポートしている。別の事業活動では青年部の事務局なども担当してきた。シティセールスは

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

	<p>2012年からスタートして事務局を務めた。地域の映画を製作することからスタートして、2012年ガマゴリ・ネバーアイランドを製作して、ロケとグルメで蒲郡を発信してきた。</p> <p>プロジェクトを長く続けるのが大変と感じてきたが、それでも長くできたのは参画される人の思い、蒲郡を外に発信したい思いが強かったためである。グルメ、ロケの誘致ということであるが、ガマゴリうどんは24店舗、認定している。アサリの調達が難しくなっているが、継続している。ガマゴリうどんの家庭向け商品も2社から提供しており、累計で36万食、1億4千万円の経済的な効果も上げた。</p> <p>これからの展開では、必要なことは共感を呼ぶことである。参加の場を設けるのがポイントである。ボランティア参加の場合はできることは限られるが、気軽に時間を作って安価であることが必要である。</p> <p>知ってもらうためには、キラーコンテンツがあるとやりやすい。ガマゴリうどんは、全国の昨年13のイベント・大会で出店した。キラーコンテンツをきっかけに地域を知ってもらうことができる。</p> <p>別のことで、商工会議所では蒲郡の魅力を生かしたプロジェクトということで、蒲郡に来ると若返る、癒される、癒しとアンチエイジングの里を進めている。今日の会議に健康推進課が入っておらず残念であるが、健康推進課でいろいろな事業を進めている。</p> <p>蒲郡に来ると癒されるというプロジェクトも進めており、最近では海でのサップなど、アウトドアのアクティビティなどロケーションを生かしたライフスタイルが広がっている。</p> <p>ガマゴリうどん杯が今日から始まるが、いろいろな企画、イベントで取り上げて連携しながら発信するので、引き続き展開していきたい。</p>
	<p>(事務局)</p> <p>左2枚がみなさんの取組みについて、ポイントを記録した。</p> <p>シティセールスをはじめ、子育て健康などアピピールされている。ただし、一体的に提案する機会が少ないか。</p> <p>共通意見では、各種団体、各種取組み、町内の取組みの連携が弱いという話があった。すぐ成果が出るわけではないので、ねばりが必要、人をPR、温泉と海とこれがあるのでは弱いのでそれをどうするのか。どうやって統一のコンセプトで進めていくのかが課題である。</p> <p>子ども達を含めて、市民の共感を生む参加や情報発信の場、若い人をどう巻き込んでいくのか。</p> <p>給食、コミュニティスクール、会議、企業の研修も含めてうまく取り込んで、全体としてまとめ挙げた方針ができると良いので、ワーキングでも議論しながら進めていきたい。</p>

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

<p>賛委員長</p>	<p><b>7 意見交換</b></p> <p>続きまして、次第の7 意見交換に移ります。</p> <p>事務局から説明があった基本方針策定について、ご質問やご意見がありましたら、お願いしたい。</p> <p>(松岡委員)</p> <p>基本方針でのターゲットで市民が主役、市外の方は 50～100 k m圏内というのが特徴である。</p> <p>シティセールスプロジェクトの中で、蒲郡を読めない人が全国に多いので、読めるようにしよう。関東、関西、四国では読めない人が多かった。地域を絞っていくのはどうか。</p> <p>基本方針の感性イメージでガマゴリうどんなど食文化の展開では、アサリの供給・調達が課題となっている。2年前にもアサリが採れなくなった時期もあったが、アサリを原材料として出汁。食文化であり、地産地消が良いが、食文化としてはガストロノミーツーリズム、食を歴史・文化とからめて体験する場をつくる。国内でも取り組んでいる地域が増えている。魚、深海魚、みかん、イチゴなどの食材に恵まれているので、食文化を切口としていくのもアイデアであろう。</p> <p>(小山室長)</p> <p>ターゲットは資料のように縛っていくのではないが、蒲郡のファンを増やしたいという思いで近く、近隣の方と示した。方針そのものを全国の知名度を上げることになれば、そうした目標になる。</p> <p>(松岡委員)</p> <p>コンセプトの一つとして食文化、地元の歴史と紐づけながら紹介するのがアイデアかという提案である。</p>
<p>事務局</p> <p>賛委員長</p> <p>賛委員長</p> <p>各委員</p> <p>賛委員長</p>	<p>(質疑応答)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>先ほど委員の皆様のシティセールスにかかる取り組みやご意見などについて、さらに質問や意見があればお願いしたい。</p> <p>(質疑応答)</p> <p>(小林委員)</p> <p>最終的に案が出来上がった時には、予算が付いてくるのか。</p>

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

	<p>(小山室長) 方針に沿った新たに加算される予算を付けるまでのイメージはないが、各担当においてシティセールスの方針に基づいて事業を行う。</p> <p>(小林委員) そうすると縦割りでやろうということになる。</p> <p>(事務局) 現状では横割りの事業が確定していない。</p> <p>(小林) 市長に判断いただいて、良い案が縦割りでだけではなく、ある程度腹を張ってやっていただきたい。</p> <p>(賛委員長) 具体的な取り組みとしては決まったものがなく、シティセールスの全体的なものは推進室でつけていく予算もあると思うし、それとは別に細かい取り組みについては各課で進めていく。縦割りが変わらないというわけではないと思う。 推進室という部署を作って取り組んでいくということであり、全体にかかわる部分は推進室、各課の事業でそれぞれ取り組んでいく部分もあるという思いを持っている。 具体的な事業の前段階の基本方針であり、まだ明確に回答できないが、方針作るのみではなく、具体的な取り組みが見えるようにしていきたい。</p> <p>(千賀副委員長) 確かにいろいろな事業でお金がかかっているが、各団体で今年度かけて方向性を一緒にするということが必要である。われわれも苦しい時期があり、お金を何とか集めようということも進めてきた。ボランティアでうどんサミットに参画してくれた市職員もいる。 まずは官民一体の方向性を揃えていきたいと思っている。</p> <p>(賛委員長) ありがとうございました。</p>
	<p>8 その他 (賛委員長) 次第の8 その他について事務局より説明をお願いする。</p>

## 第1回蒲郡市シティセールス基本方針策定委員会 議事概要

	<p>(事務局 小山室長説明)</p> <p>次回の開催について、11月を予定 ワーキング会議の開催について、明日303で開催。委員の皆さまで時間の都合がつく場合にはご参加いただきたい。</p> <p>(賛委員長)</p> <p>何か全体を通じてご質問等ございましたら、ご発言ください。</p>
	<p>(賛委員長)</p> <p>他にないようでしたら、以上で本日の委員会を終了する。 長時間にわたりありがとうございました。</p>